

「地方創生」の“成果”結集・好循環に向けた行動宣言

我が国の「人口減少」や、若者を中心とする「東京一極集中」に歯止めをかけるためには、引き続き、“一刻の猶予も許されない”との強い危機感の下、「地方創生」を加速していく必要があります。

本県においても、「地方創生“拳県一致”協議会」を核とし、「vs東京『とくしま回帰』総合戦略」に盛り込んだ「具体的な実践策」に、この3年間果敢に挑戦した結果、「消費者行政新未来創造オフィス」の本県開設をはじめ、「徳島阿波おどり空港・新ターミナル開設」「ターンテーブル開業」など、着実な成果が表れています。

来る平成30年度は、総合戦略「5か年計画」の最終年度に続く「重要な1年」であることから、これまでの“成果”を結集し、県内全体で好循環を生み出すことで、徳島の地方創生を一層飛躍させていくことが重要となっています。

そこで、我々協議会は、改めて“初心”に立ち返り、「地方創生」実現に向けた想いを共有しながら、「課題解決先進県・徳島」の誇りを胸に、拳県一致で、次の行動を実践することをここに宣言します。

- 1 2060年を展望した「とくしま人口ビジョン」の実現に向け、次期「総合戦略（2020～2024年度）」も見据えながら、ライフステージに応じた、創意工夫を凝らした取組みを推進します。
- 2 「消費者行政新未来創造オフィス」開設などの成果を結集し、好循環を生み出す「vs東京『とくしま回帰』総合戦略」を総力を挙げて推進します。
- 3 徳島ならではの「おもてなし精神」に溢れる「住んでみんで！」の想いのもと、人や企業の「とくしま回帰」を強力に推進します。

平成30年2月8日

地方創生“拳県一致”協議会
（「住んでみんで徳島で！」県民会議）



とくしま創生サポーター
すだちくん